

第30回道路行政マネジメントを实践する栃木県会議

日時：令和7年8月28日（木）14：00～
場所：宇都宮国道事務所 2F会議室

議事要旨

1. 議事

<概要説明>

- 1) 道路行政マネジメントを实践する栃木県会議の概要 【報告】

<渋滞対策>

- 1) 主要渋滞箇所の進捗状況 【報告】
2) 最新データによるモニタリング結果 【審議事項】【報告】
3) その他取り組み状況の紹介 【報告】

<事故対策>

- 1) 事故ゼロプランの取組方針・取組状況 【報告】
2) 事故危険区間の対策案について 【審議事項】
3) 重大事故対策について 【審議事項】【報告】
4) 生活道路事故対策の取組について 【報告】
5) その他 【提案】

2. 議事要旨

<渋滞対策>

- 1) 主要渋滞箇所の進捗報告【報告】

- 2) 最新データによるモニタリング結果【審議事項】【報告】

(審議結果)

■今年度主要渋滞箇所の解除について

- ・「全流入方向」でモニタリング3指標をクリアしている3箇所について、現地踏査を行った結果、2箇所の解除について了承頂いた。
- ・「主道路のみ」モニタリング3指標をクリアしている1箇所について、現地踏査も実施したが捌け残りが発生していることが確認されたことから、今回については解除しないことでも了承頂いた。

■来年度主要渋滞箇所の解除について

- ・「全流入方向」でモニタリング3指標をクリアしている5箇所を、今後現地踏査等を行い、主要渋滞箇所の位置づけを検討していくことでも了承を頂いた。
- ・「主道路のみ」モニタリング3指標をクリアしている3箇所を、今後現地踏査等を行い、主要渋滞箇所の位置づけを検討していくことでも了承を頂いた。

(委員意見)

- ・今回、解除しなかった国道4号東小屋交差点については、①大原間南交差点までの短区間で信号交差点が連続していること、②国道4号の大型車混入率が高いこと、③片

側1車線道路に対し、特に朝ピーク時には交通が集中していることから、渋滞が発生していることが想定される。対策としては、信号現示の調整や拡幅（事業中の西那須野道路の北側への延長）などが考えられる。

（委員長意見）

- ・解除見送りとなった2箇所について、速度が基準をわずかに超える程度であるため、モニタリングを継続的に実施し、適切なタイミングで解除できるよう対応してほしい。

3) その他取り組み状況の紹介【報告】

<事故対策>

1) 事故ゼロプランの取組方針・取組状況【報告】

2) 事故危険区間の対策案について審議事項】

（審議結果）

国道4号築瀬3丁目交差点について

- ・左折自動車と自転車の錯綜リスクへの対策案として提案された自動車に対するカラー舗装での注意喚起について、カラー舗装の範囲等を再検討する。

（委員意見）

- ・路肩の寸前までカラー舗装すると、自転車利用者はカラー舗装の方に誘導されてしまうリスクがあるため、自転車走行が想定される範囲は着色しない方が望ましい。
- ・着色をしない部分については、ナビマーク等を設置により自転車を自転車横断帯に誘導させるような工夫が必要。

3) 重大事故対策について【審議事項】 【報告】

（審議結果）

久部交差点について

- ・関係者間で調整のうえ、路面標示の塗装や看板の設置等の検討を進めていく。

（委員意見）

- ・逆走事故は発生していないが、未然の事故を防ぐために逆走認知に関する対策を実施すべき。
- ・路面標示が薄れているため、塗装が必要。

（委員長意見）

- ・久部交差点以外でも対策が必要と想定される箇所については、事故を未然に防ぐために着実に対策を進める必要がある。

4) 生活道路事故対策の取組について【報告】

（委員意見）

- ・事故ゼロプランの取組を紹介するポスターの掲示先として、道の駅や役所、警察署・免許センターの他に、高速道路のサービスエリアやLRTの停留場が考えられる。
- ・ポスターの字が小さく見づらいため、字を大きくした方が良い。

5) その他【提案】

（委員意見）

- ・宇都宮市の築瀬1丁目交差点では、旭陵通りの歩道を利用するために側道を横断する必要があるが、信号を待たずに横断する歩行者が多く存在し危険であることから、今後対策の検討を望む。

以上